

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 岡山スイキュウ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0944 岡山市南区泉田371-1	
本票作成	部署名： 管理本部				
主たる業種	分類コード	44	業種名： 道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内の4営業所に200台程度の車両を置き、運送業を行っている。 従業員数は、約320名。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉富物流センター		岡山市中区倉富367-4	
	②	瀬戸内物流センター		瀬戸内市長船町土師168-1	
	③	泉田営業所		岡山市南区泉田371-1	
	④				
	⑤	早島物流センター		都窪郡早島町矢尾812-6	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 200 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.3 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 29 年度)					
	10,413 t CO ₂			10,800 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	倉富物流センター		4,691 t CO ₂					
	②	瀬戸内物流センター		4,030 t CO ₂					
	③	泉田営業所		1,388 t CO ₂					
	④								
	⑤	早島物流センター		304 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		213.000 t CO ₂ / (億円)	206.000 t CO ₂ / (億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

車両燃費向上のため、エコ運転を実施。
 ゴミの分別仕分けや5S運動を通じて環境問題に取り組む。
 倉庫の防熱や冷凍設備を補修し、エネルギー使用量を削減する。

【目標削減率達成のための推進体制】

営業所に推進責任者を置き、継続的な改善活動を行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全営業所	エコタイヤ交換 トラック協会主催の省エネ運転講習会に出席 デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導 走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換 タイヤ空気圧を毎月確認し、適切な空気圧を管理 乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算 ドライブレコーダーの追加導入
倉富物流センター	老朽化したドックシェルターを修理し、冷気の漏れを防いだ 防熱扉の開閉を少なくした。細かな温度管理を行った。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全営業所	新型デジタル式タコグラフを順次導入し、 運行途中のリアルタイムな指導を行う。 旧冷蔵庫を補修し密封性を強化。照明をLEDにかえる。 エコタイヤに随時交換し、燃費向上に努める。 低燃費車を購入。 防熱や冷凍機器により熱効率を高め、使用電気量を削減する。
倉富物流センター	昨年と同様の取り組みを行う。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

大福営業所は平成27年8月より都窪郡早島町へ移転し、早島物流センターとして稼働。